

当社が農業団地に着目した理由

様々な農的コンテンツが集まったエリア（＝農業団地）をつくり、
農に関わる人を増やしたいから



地域によって農業団地の特色はいろいろ。地域ごとにカスタマイズ

農業団地のタイプ

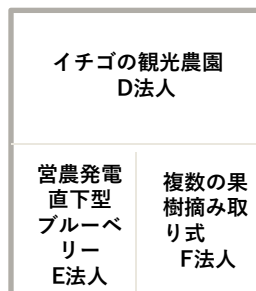
1

農業生産特化型エリア



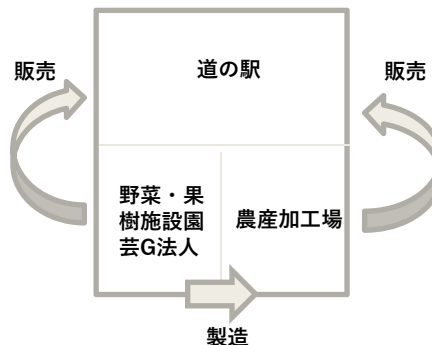
2

農レジャー型エリア



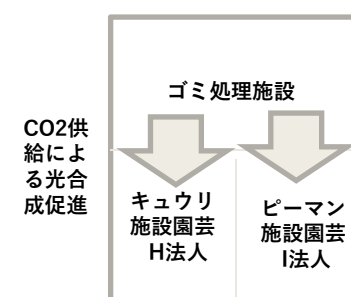
3

農商工連携型エリア



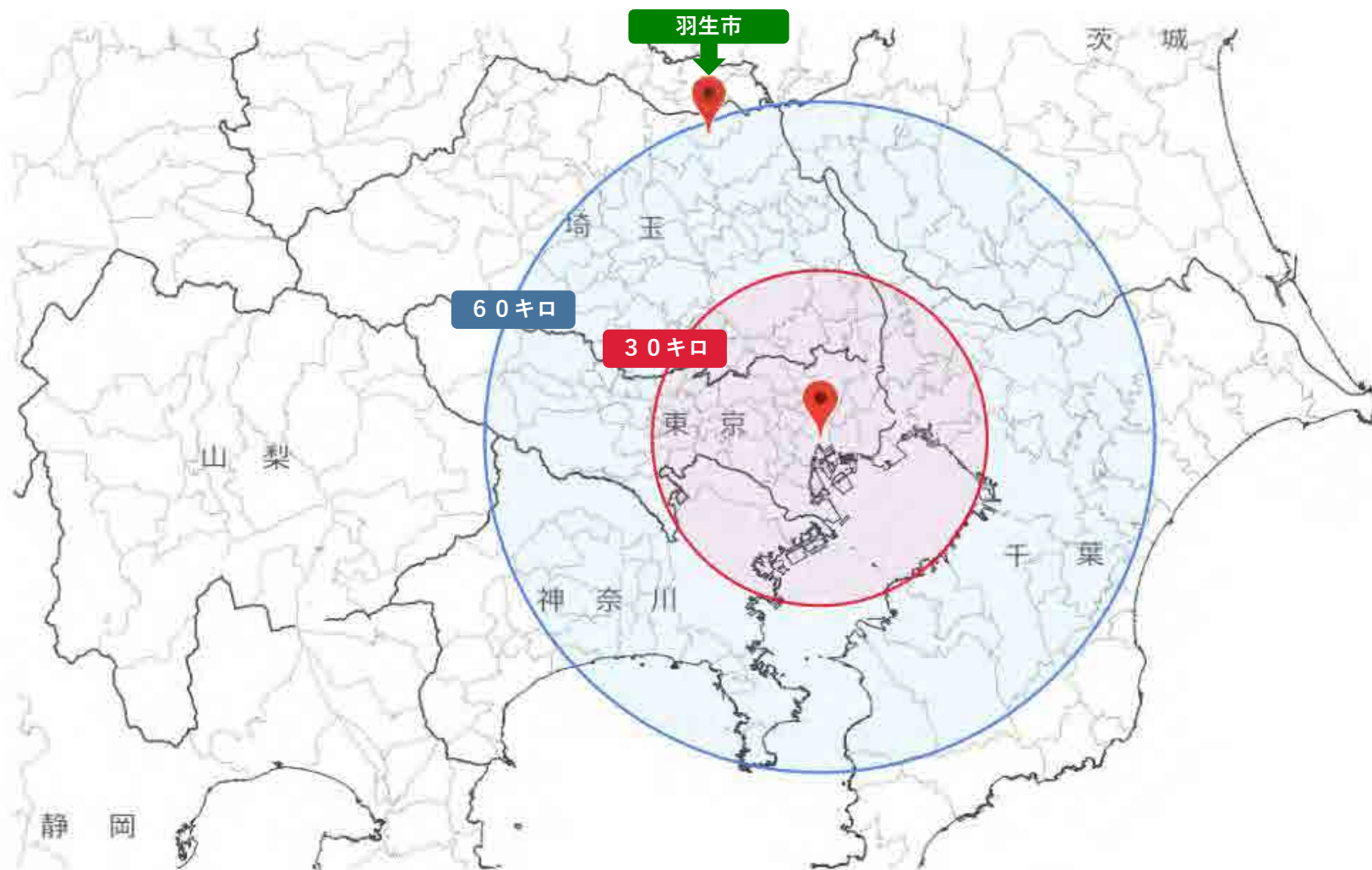
4

農×エネルギー型エリア



事業者が集積するメリット

- 農業機械のシェアリング
- 物流や集出荷の共通化
- 人材を融通
- 産地力の形成



人口:53,855人

※2024年1月4日現在

当該地について

- ・羽生市は関東地方のほぼ中央、埼玉県の北東部に位置し、都心から60km。

- ・北は利根川を隔てて群馬県に隣接。

- ・「県立羽生水郷公園」や三田ヶ谷農林公園「キヤッセ羽生」などの観光施設が集積するエリア

農地面積

田2,110ha 畑373ha

農地の85%が田。



出典元：Google Map

埼玉県羽生市にある農業団地「チャレンジファーム」



■ **計画地の水田を、畑地化したうえで、貸し出します。**観光農園に加え、高収益作物の栽培やスマート農業の実証など、幅広い次世代型農業の誘致を目指します。市内外の企業や団体の参入などを通じ、農地の保全や活用につなげます。

■ 参入する企業・団体は、公的機関である農地中間管理機構を通じ、農地を賃借します。地権者と民間事業者の賃貸借契約による、**民間主体の事業展開を前提**としています。

■ ※土地の売買はいたしません。

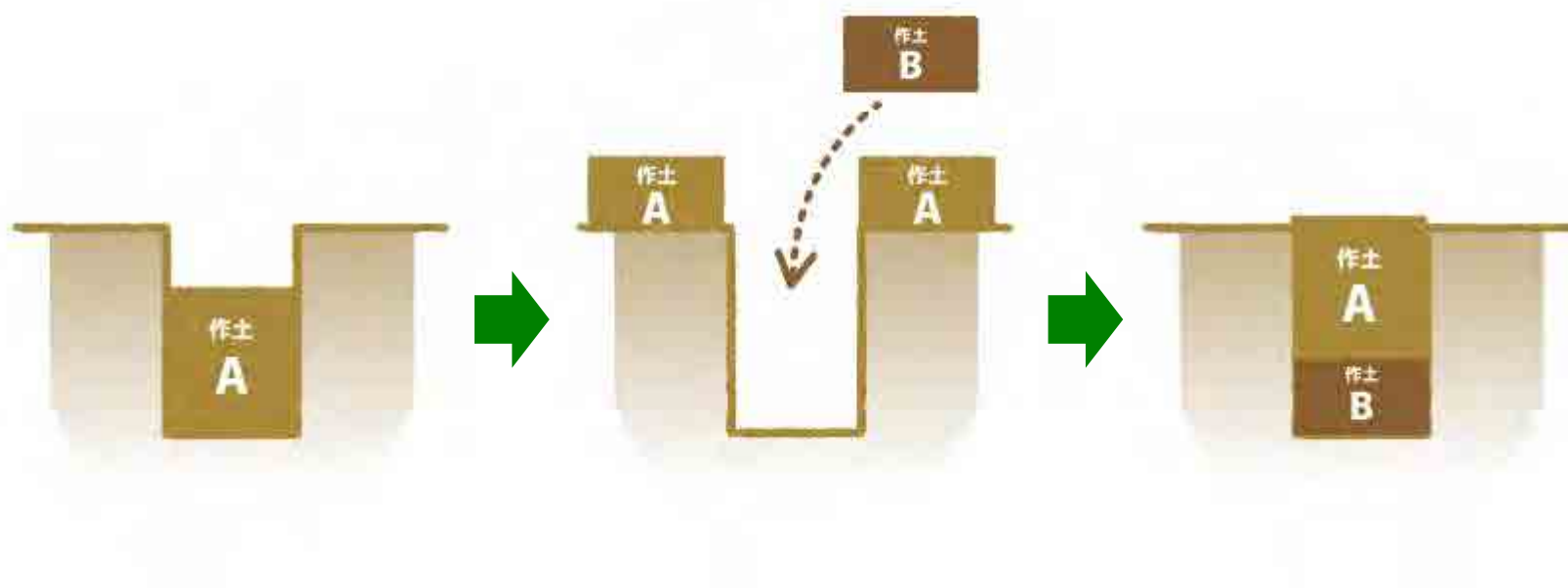
地権者は80名。農政課が主導して地権者協議を行い、同意を取り付けていった



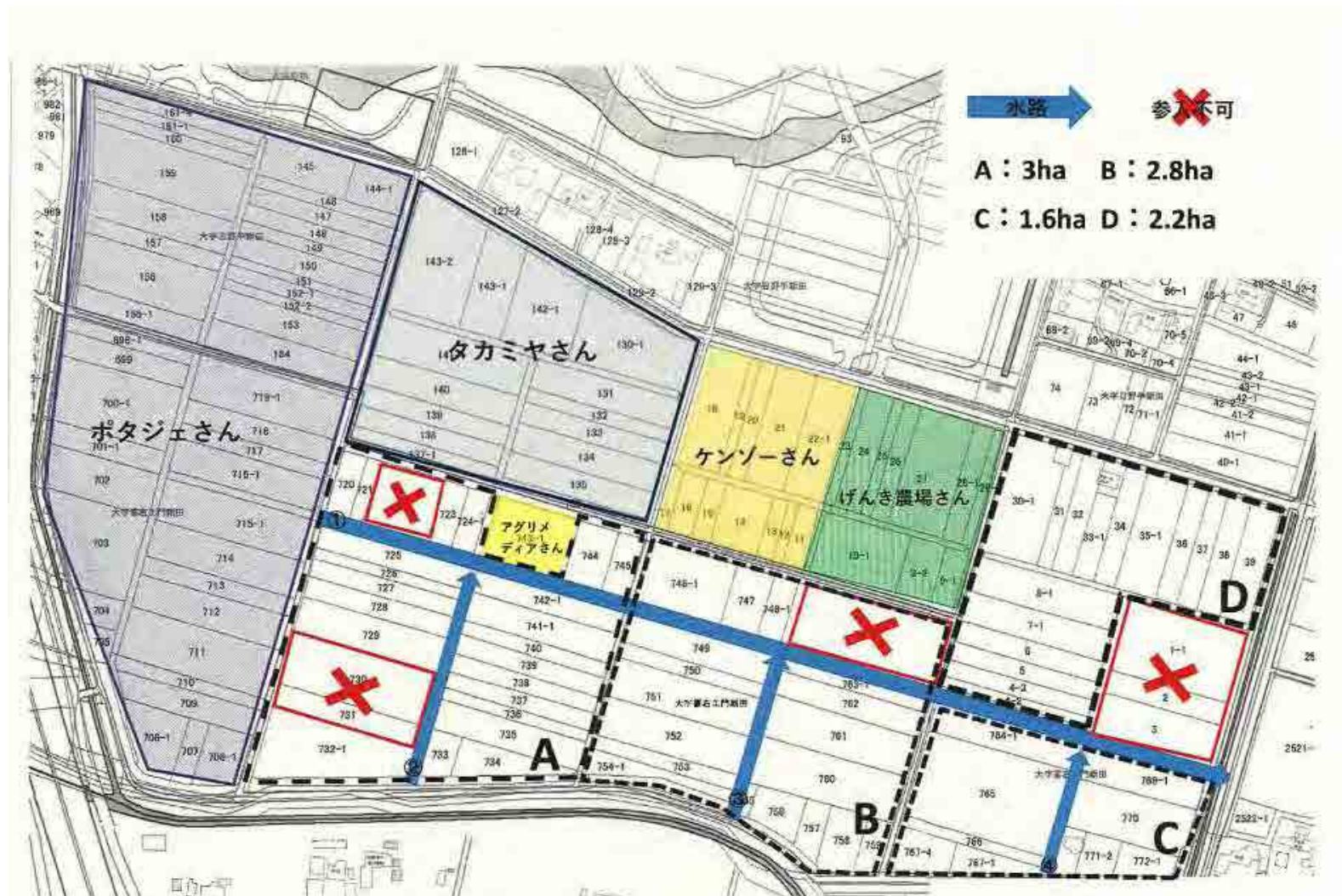
現況は水田。進出が決まれば、行政主導で盛り土する



「天地返し」という方法で盛り土を行う。進出企業の金銭負担不要



24haのうち、6割は進出済み。当社はコンサルタントの立場で独自の農業法人のネットワークを活用し、企業誘致に取り組んだ



 株式会社げんき農場	全国展開している大手農業用資材メーカー「渡辺パイプ(株)」の子会社。 自社のハウス、システムを使ったイチゴの生産。主にECサイト、キヤッセ羽生、市内スーパーにて販売。栽培面積は70a 新技術のハンギングベンチによる耕作も行っている。 R4強い農業づくり総合支援交付金が採択され50 a 増設 R5年度生産分より観光農園開園予定
 株式会社ケンゾー	スーパーマーケット、レストランを経営する羽生市内有力企業 自社スーパーでの販売のほか、観光農園、6次化による加工品販売を行っている。 R2年度キッチンカー導入、スムージーや削りイチゴなどが人気。苺ジャムのほかバームクーヘンやいちご大福なども販売している。 栽培面積は40a。 イチゴだけでなく、ほかの品目にも今後チャレンジ予定
 株式会社タカミヤの愛菜	大手建設用足場メーカー「(株)タカミヤ」の子会社 足場の技術を活かした農業用ハウスが特徴。最新技術を使った「きゅうり」「ミニトマト」「いちご」を生産。主にECサイト、キヤッセ羽生、市内スーパーにて販売。約8,000㎡のオランダ型最新ハウスで生産中
 ポタジェガーデン株式会社	日本有数のハーブの生産法人 ハーブやイタリアン野菜を順調に出荷。面積はチャレンジファーム内で最も広い約5.6ha。コロナ禍で外食産業向けの出荷が鈍るものの、おうち時間の増加によりECによる苗の販売が好調。 本社を市内に新築し移転、R5年2月下旬完成。

[取組の経過]

時系列

- 2017年
 - 4月 構想策定にあたって委託業者選定
地元銀行に相談
 - 6月 類似事業調査
 - 7月 発注
- 2018年
 - 1月 事業者意向調査
 - 3月 観光農園等基本構想策定
 - 4月 地元有力者（自治会長、地元議員他）事前説明
 - 5月 地権者に対し、構想説明
意向調査実施
 - 6月 意向調査取りまとめ
 - 7月 地権者に対し、意向調査取りまとめ結果報告
 - 10月 企業誘致に先行して圃場整備(畑地化)実施
※2019年5月完成
 - 11月 市内の企業に参入打診
 - 12月 候補企業を一般公募開始

2019年

- 5月 渡辺パイプ(株)に圃場を紹介 構想策定後1年3か月
で参入決定
- 6月 (株)ケンゾー参入決定
- 7月 渡辺パイプ(株)、ポタジェガーデン(株)参入決定
- 10月 (株)ケンゾーがイチゴの定植を開始
第2工区圃場整備開始
※2020年5月完成

2020年

- 2月 (株)ケンゾー 観光農園オープン ハウスの建設を経て、
参入決定半年後に
観光農園開園
- 3月 (株)タカミヤ 参入決定
- 4月 渡辺パイプ(株)ハウス建設開始
- 5月 (株)ポタジェガーデン 作付開始
- 10月 渡辺パイプ(株)がイチゴの定植を開始

2021年

- 3月 (株)タカミヤハウス建設開始
- 6月 (株)タカミヤが(株)タカミヤの愛菜を設立
- 7月 渡辺パイプ(株)が(株)げんき農場を設立
- 8月 (株)タカミヤがきゅうり等の作付開始

2022年

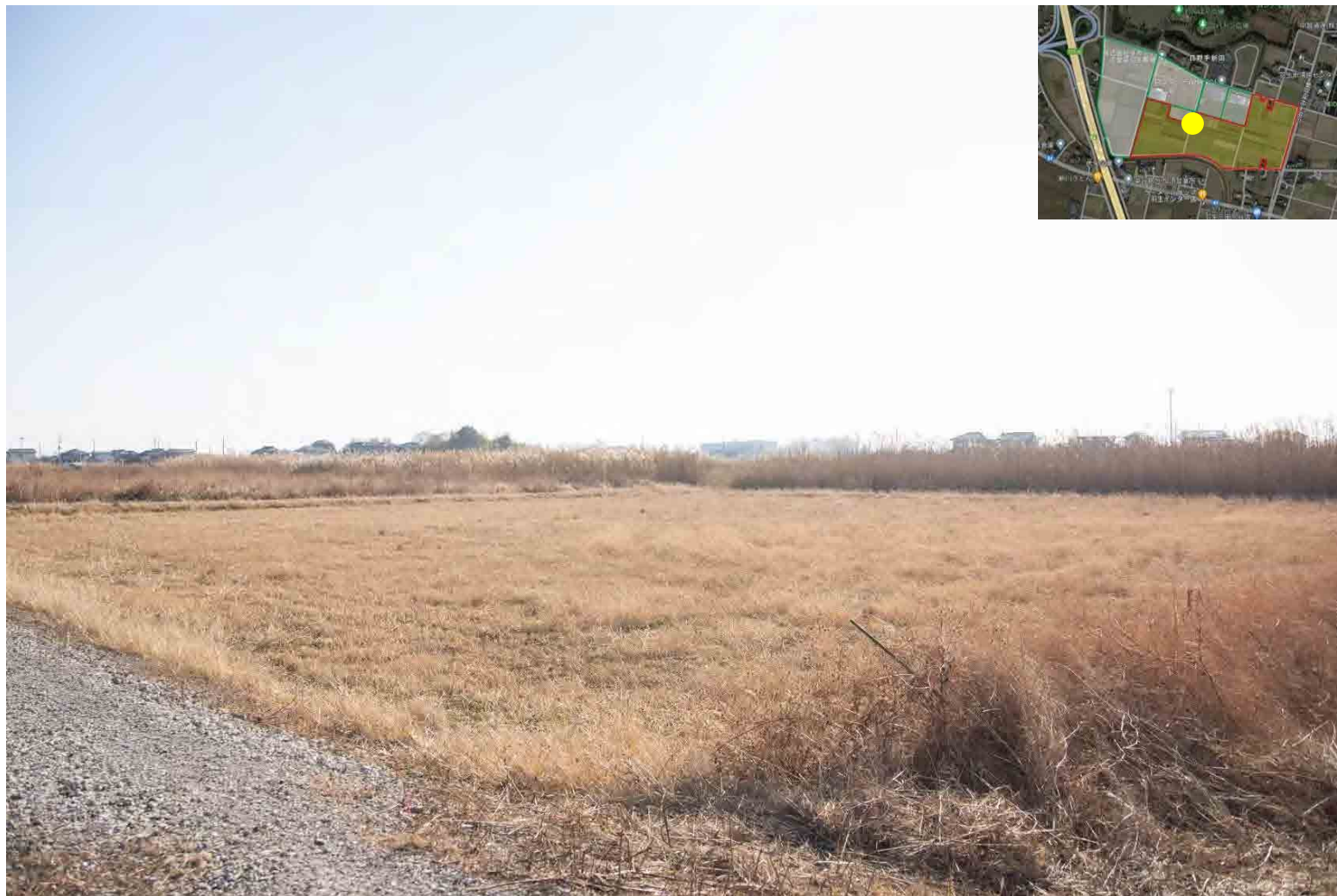
- 8月 (株)ポタジェガーデン 本社建設開始

現在

羽生チャレンジファームの参入企業の外観



賃料は1反あたり1万1千円／年。プラス水利費9千円



契約期間は農地中間管理機構を介して20年が基本

